



地域高規格道路 いちのみやにしこうどうろ 一宮西港道路

早期実現に関する要望



【東海北陸自動車道南伸建設促進期成同盟会 名簿】

- | | | | | | |
|-----|---------|----------------|---------|---------|---------|
| 会長 | 愛知県知事 | | | | |
| 副会長 | 一宮市長 | 飛島村長 | | | |
| 委員 | 津島市長 | 愛西市市長 | 西宮市市長 | 稲沢市市長 | 弥富市市長 |
| | 大治町長 | あま市市長 | 一宮市市長 | 稲沢市市長 | 飛島村市長 |
| | 津島市議会議長 | あま市議会議長 | 西宮市議会議長 | 稲沢市議会議長 | 飛島村議会議長 |
| | 愛西市議会議長 | あま市議会議長 | 一宮市議会議長 | 稲沢市議会議長 | 飛島村議会議長 |
| | 蟹江町議会議長 | 名古屋港管理組合専任副管理者 | | | |
| 監事 | 稲沢市長 | 蟹江町長 | | | |
| 参与 | 岐阜県知事 | | | | |

平成30年11月

一宮西港道路の早期実現に関する要望について

中京圏は、我が国の基幹産業である自動車関連産業をはじめ、工作機械や航空宇宙など、日本一の産業集積を誇る産業圏域として、日本経済を支える中心的な存在です。

なかでも、名古屋港は、総取扱貨物量は約2億トンと平成14年以降全国第1位、貿易黒字額も約7兆円と平成10年以降全国第1位であります。名古屋港では、飛島ふ頭と鍋田ふ頭がコンテナ取扱拠点となっており、東南アジア向けコンテナ貨物量が急速に増加している中、現在、飛島ふ頭東側コンテナターミナルの整備など、国際物流拠点としての整備が着々と進められております。

今後とも中京圏が日本の産業・経済を強力にリードしていくためには、空港・港湾等の物流拠点と生産拠点や産業集積地間の定時性を確保するなど、さらなる輸送コストの低減を可能とする物流ネットワークの構築が必要であります。

こうしたなか、愛知県尾張西部地域を南北に縦断する西尾張中央道は、名神高速道路を始めとする高規格幹線道路や国道1号、23号等の広域幹線道路と交差していることに加え、名古屋港へアクセスすることから、大型貨物輸送の需要が高く、朝晩を中心に渋滞が発生している状況であります。

現在、東海北陸自動車道の一宮ジャンクション部分において、2020年度の供用を目標に愛知県が（仮称）西尾張インターチェンジの整備を進めており、東海北陸自動車道の利便性向上に大きく貢献するものと考えておりますが、抜本的な西尾張中央道の渋滞解消とともに、地域相互の交流促進や地域社会の発展・開発のためには、東海北陸自動車道の南伸部分となる地域高規格道路一宮西港道路の整備は必要不可欠であります。

また、一宮西港道路は、日本の大動脈である名神高速道路と新名神高速道路を結び、広域道路ネットワークを形成するとともに、東海北陸自動車道と接続し、航空宇宙産業が集積する岐阜方面から名古屋港や中部国際空港へのアクセス道路として重要な道路であります。

一宮西港道路は、このような産業面の観点はもちろん、災害時の避難経路や救助活動の主軸となるという観点からも非常に重要な道路ですので、下記の事項につきまして、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 地域高規格道路「一宮西港道路」を重要物流道路に指定し、早期実現を図ること。
2. 長期安定的に道路整備・管理が進められるよう新たな財源の創設を検討するとともに、平成31年度道路関係予算は所要額を確保すること。また、平成30年度補正予算についても、道路事業が推進されるよう、用途を限定しない補正予算を早期に編成すること。
3. 一宮西港道路をはじめとした道路ネットワークの整備に加え、すべての道路の安全性・信頼性が向上するよう、今年度、道路構造物の法定点検が一巡することを踏まえ、老朽化対策の進捗に向けて予算を別枠で確保すること。

平成30年11月

東海北陸自動車道南伸建設促進期成同盟会

会長 愛知県知事 大村 秀章

名古屋商工会議所会頭 山本 亜土

一般社団法人中部経済連合会会長 豊田 鐵郎